



ロータリー：
変化をもたらす



● 本日の例会 / 2017年 11月 17日 第1459回 第3回クラブ協議会
テーマ：①奉仕プロジェクトについて ②細則変更について

● 第1458回 例会報告 / 2017年 11月 10日

出席報告：会員 57名 /出席 30名 欠席 27名

卓話：イニシエーションスピーチ 大谷 啓子 氏



左：岩上会員（ご紹介者）

日付	開始時間 終了時間	場所	事項	内 容	
				今後の予定 (対象者 ..全会員)	内 容
11月 24日	12:30 13:30	B1 オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例会		卓話：「合気道の紹介」 合気道練身会 千田 務 氏
12月 1日	12:30 13:30	B1 オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例会		卓話：一般社団法人アプローズ 代表理事 光枝 茉莉子 氏
12月 8日	12:30 13:30	37F アリエス ANA インターコンチネンタルホテル東京	例会		卓話：作詞家 売野 雅勇 氏
12月 14日 (木)	18:00 21:00	B1 ギャラクシー ANA インターコンチネンタルホテル東京	夜間 例会		忘年家族会 JAZZ ブルースエンジェルス (V.O. 五十嵐はるみ)によるステージ bingo大会 ※景品のご協力お願いします。 12/1(金)、12/8(金)の例会時お持ちいただきか、 12月に入りましたら ANA インターコンチネンタルホテル東京までお送りください。宛先は次の通りです。 宛先：〒107-0052 東京都港区赤坂 1-12-334 ANA インターコンチネンタルホテル東京 宴会サービス御中 東京赤坂ロータリークラブ忘年家族会行 TEL:03-3505-1111
12月 15日 (金)		休 会 (12/14 忘年家族会へ振替)			
12月 22日		休 会			
12月 29日		休 会 (年末)			

「リスクマネージメントを目指して」

私は自他ともに認める仕事大好き人間です。これは、子供の頃から、父親が務めていた外資系企業の仕事の仕方をずっと見ていましたが原体験になっていると思います。

「大人になって社会に出て、早くいい仕事をしたい」と思っておりました。

社会人としての初めての勤務先である「旺文社」で、秘書になりましたが、その時に専門職としての勉強が非常に大切だということを体験いたしました。

秘書の勉強をした後、それを生かすため、転職をしようとした時、ちょうどオイルショックの時代にぶつかり、なかなか次の仕事が見つかりませんでした。たまたま友人に誘われて、新しい会社設立に参加いたしました。生涯教育関連の出版や異業種交流の場の提供などを目的としておりましたが、その過程で、リスクマネージメントという仕事を知り、法人設立をいたしました。

有限会社アミタスという会社です。

ここで、リスクマネージメントを仕事にするならば、日本では損害保険の代理店が一番近いとのアドバイスをもらい、保険代理業を開始いたしました。

会社のスタンスは「人と人との触れ合いを大切に、損害保険と生命保険そして新しい情報を媒体とした、事業展開を目指す」というものでした。24歳と7か月で、たまたま法人の代表取締役の名刺を持つことになりました。

全く未知の世界からの出発でしたので、まずは保険を知り、資格をすべて取って、知識を深めることが第一でした。

賠償責任保険に特化した事業にしようと思いましたが、理想と現実は違い、まずは法人をご紹介いただき、問題解決の一つの手段をして、保険を販売していくこうといたしました。

当時女性の損害保険代理業は非常に珍しかったので、業界紙の取材を受けたり、同業の多くの先輩から経営の教えをいただきました。

4年後、東京青年会議所に推薦を受け入会し、同時に日本青年会議所の、業種別部会として、保険部会の創立メンバーとなりました。

1 地域社会に保険を通じて「奉仕」しよう

2 保険業界の担い手として「修練」をつもう

3 明日の保険業界のために「友情」をもとう

この三信条のもとに、大蔵省への提言活動やセミナーの開催、全国の部会メンバーとの情報交換等、非常にまじめな部会でした。

この部会を通して、広く保険業界とかかわることになり、部会は私の仕事人生の中でも非常に大きな意味を持つことになりました。

有限会社アミタスは十周年と同時に特級一般代理店に認定されオフィスを八重洲口に移転いたしました。当時、損保4社、生保6社の商品を扱う「専業乗合代理店」でした。

その後、平成元年11月1日に株式会社アミタスを設立し、代理店としては、平成23年に合併をし、現在の日本インシュアランスグループ株式会社になっております。

保険業界は1996年に金融ビックバンの中で、50年ぶりに業法が改正になり、企業向けの保険を扱う、歐米型の保険ブローカー制度ができました。保険会社の委託販売ではなく「保険仲立人」という、独立した流通制度がつくられました。この制度については、外国保険会社からの参入障壁へのドアノックから始まり、日本JC保険部会の仲間で作ったJIGという会社が推進力となりました。ただ仲立人会社は、設立に当時4000万円の保証金と最高8億円までの賠償保証金が必要と法律で定められたこと、保険代理業(保険会社の代理としての委託販売)とは、利益相反するということで、兼業が認められなかつたこと等により、全国から熱い志を持ったメンバーが仲立人会社への参加を見送った結果にもなりました。

現在20年がたち、仲立人会社は50社を超え、商社系・銀行系・独立系の会社がそれぞれ営業をいたしております。私は、乗合代理店は、イージーオーダーまでの設計、仲立人会社は保険会社をメーカーとして位置付けたリスクマネージメントの転嫁としてオーダーメイドの設計と思っております。

このように40年間を超えて、保険業界に携わっておりますが、知識と経験を経て、私のこれから仕事はまさに補償をしていくことが多くなります。リスクマネージメントを志しスタートした仕事人生は、まだまだ今後も続いていくことと思っております。

11/7 火曜会

「飛ばしの極意」というテーマについて、プロゴルファーの酒井南雄人プロをお招きしてお話ししていただきました。酒井プロは、身長165cmと小柄ながら雲を吹き飛ばすような飛距離をもつ華麗な打球者。ドラコンの全国大会で385ヤードを飛ばし、2位というとてつもない飛ばし屋です。そんな酒井プロから体の捻転や肩甲骨の動かし方についてお話しいただき、みなさんお酒を飲む暇もないぐらいエクササイズに夢中になりました。

質問コーナーでは時間一杯まで質問が途切れることなく、話を聞いた後はゴルフに行きたくなりました。早速練習場に行き、教えてもらったことを実践してみましたが、今まで体を捻転するという動作を意識したことがなかったので、変な感覚でしたが球は安定していたような気がしました。



参加者：鈴木(貞)、金山、奥野、福田、吉岡、村山、入沢宇佐美、谷口、坂口、大谷、小原、熊本、穂刈、小林、河邊、岩上、藤井(宏)

ゲスト：プロゴルファー酒井南雄人プロ、アシスタント竹内いずみ、比嘉美佐子 計21名(順不同・敬称略)